



Title	日米関係（沖縄返還）10(大臣・マイヤー（十一・十二） 外務省外交史料館レファレンス番号：H223550)
Author(s)	-
Citation	平成22年度外交記録公開(4)No.8 公開日：平成23年2月18日 外務省外交史料館管理番号：2011-0023 CD・DVD番号：H22-021
Issue Date	
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43785
Rights	外務省外交史料館所蔵資料

大正
二
十
一
年
十
一
月

極 秘
無 期 限
部 内 号

大臣	参 席 長	PM 席 長
次 官	参 事 長	参 事 長
参 事 次 官	参 事 長	参 事 長
愛知大臣、マニラ-在米大使会議(北)		
69. 11. 12		
北一長		
<p>前日正午最後の会議 概略 以下のとおり。 (森外務次官、PM 席長、北一長、対国政特、 木村-二公使、スナ-二公使出席)</p>		
<p>1. 共同声明関係 大臣が-南化マニラへの問題を示、南化 閣下折衝中の旨(後、ス、南公使が-南化 のメリット (神龍以外の項目は注目を引かざる べし)を述べた。</p>		

<p>2. NPT: 米朝の共同声明の何かが言及を 要し、当方は不賛成。</p>
<p>3. 安全保障問題: 双方は従来の主張を 述べた。</p>
<p>4. 北米関係: 大臣が北米と接触 する大使に訓令(2面)あり、双方の接触 が困難な旨披露、大使がトピクスターを 通訳人として論評</p>
<p>5. 北方領土問題: 大臣が北米との接触の 結果の功を述べた</p>
<p>6. 経済問題: 北米との交渉の片々の 特色を述べた。</p>